

01 教会ニュース

世を明るくするとしび

日刊紙に連日掲載されているイ・ジェロク牧師の信仰コラムと『六日間のマナ(下)』発刊など活発な宣教のニュース。

02 いのちのみことば_十戒シリーズ10

あなたの隣人の家を欲しがってはならない

神は子どもたちが食欲を捨てて天国の望みを持ち、火のように祈ってすみやかに聖められ、求めるものは何でも答えられることを望んでおられる。

03 信仰相談

祈ってもなぜ迫害は続くのでしょうか？

全家を通じて忠実でなかったのではないか、感謝と喜びをもって行ったかを顧みて、賢い方法を探り窮めれば解決される。

支教会8月スケジュール

04 証し

「本とハンカチで福音を伝えています」

文書宣教のビジョンを実現していくイ・ホサン予備長老と、ハンカチの祈りで帯状疱疹がいやされたマイリン・マシカムが聖徒の証し。

万民ニュース

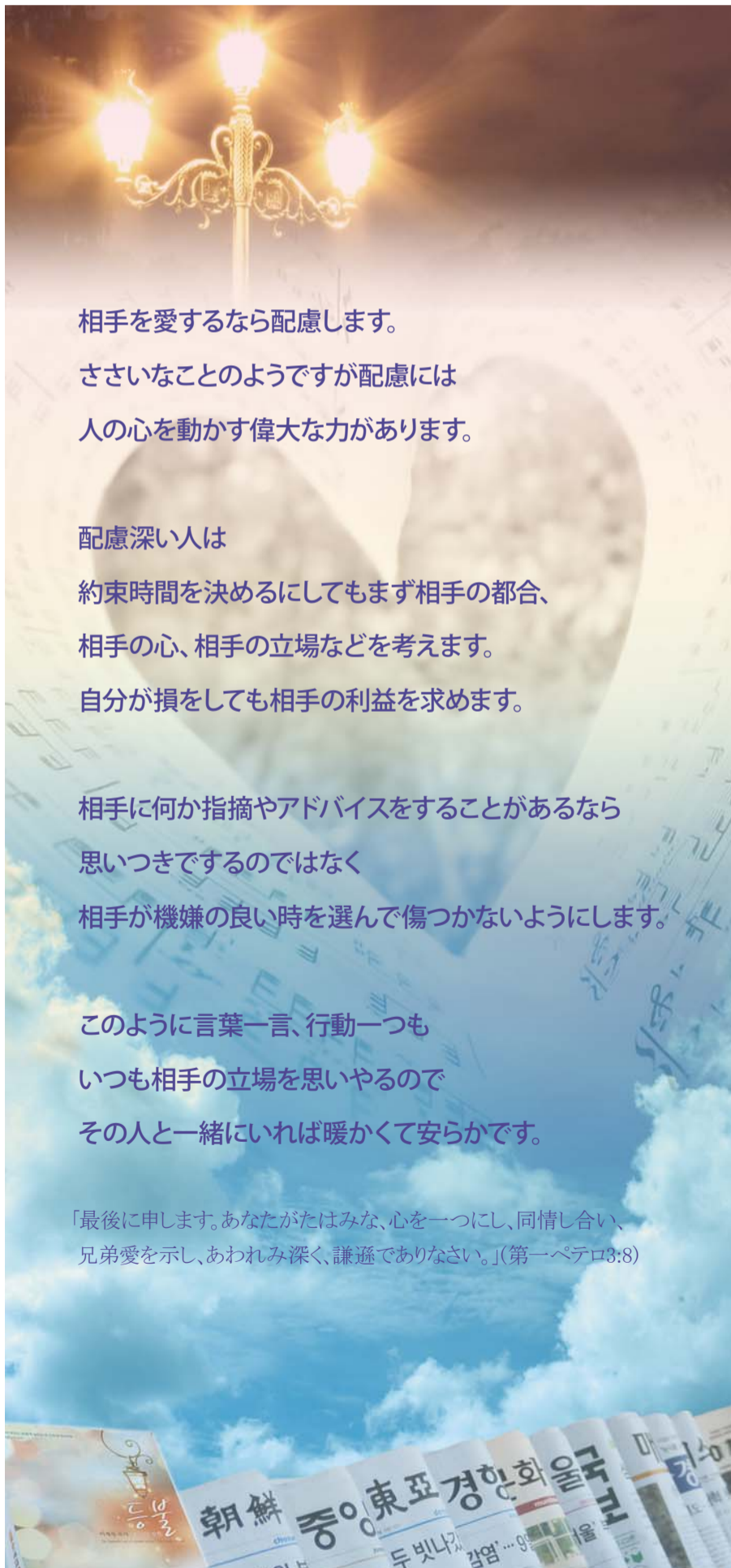
第153号 2015. 7. 26.

MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7063

www.manmin.org

人生の尊さを悟らせてくれるイ・ジェロク牧師の信仰コラム



相手を愛するなら配慮します。

ささいなことのようにですが配慮には人の心を動かす偉大な力があります。

配慮深い人は

約束時間を決めるにしてもまず相手の都合、

相手の心、相手の立場などを考えます。

自分が損をしても相手の利益を求めます。

相手に何か指摘やアドバイスをすることがあるなら

思いつきですのではなく

相手が機嫌の良い時を選んで傷つかないようにします。

このように言葉一言、行動一つも

いつも相手の立場を思いやるので

その人と一緒にいれば暖かくて安らかです。

「最後に申します。あなたがたはみな、心を一つにし、同情し合い、兄弟愛を示し、あわれみ深く、謙遜でありなさい。」(第一ペテロ3:8)

5、6行の短い文を通して得る尊い人生の悟り。

イ・ジェロク牧師の信仰コラムが日刊紙とキリスト教界の新聞、時事雑誌に連日掲載されている。月曜日はハンギョレ新聞とソウル新聞に、火曜日は中央日報、東亜日報、水曜日は韓国経済新聞、木曜日は京郷新聞とコリアヘラルド、金曜日は朝鮮日報と韓国日報、文化日報に掲載されている。土曜日はキリスト教新聞に「創世記講解」が定期掲載されており、雑誌『時事ニュース』ではインターネットで読める。

現在、イエス・キリスト連合聖潔会の総会長でありGCN放送の理事長でもある万民中央教会の堂会長イ・ジェロク牧師は1992年3月、韓国日報の「道」というコラムを始めに、牧会現場で悟った知恵と感動を読者と分かち合ってきた。神の愛、創造の神秘、人生の問題に対する解決の鍵、キリストの香りとお光を放つ人生、天の知恵をいただく道など、多様なテーマを扱っている。

また、短い文の中に溶け込んでいる彼の霊的な鋭い目と洞察力は読者の心を真理で照らしてくれている。読者は感謝を電話で伝えてくる。ある愛読者は「いつもそばで暖かい言葉で励ましてくれる良き友のようです。コラムを通して人生を見る視野が広くなりました」と語る。

東亜日報の「シロアム」と韓国経済新聞の「いのちの水」を除き、同牧師のコラムは「道」という共通タイトルで掲載されている。このタイトルのように、同牧師のコラムを通して多くの人が事件、事故、病気が猛威をふるっている世にあっても、まことの幸せへの道を見つかけられると期待している。

また、毎日アップデートされるコラムは教会のホームページ(www.manmin.org)とGCN放送のホームページ(www.gcntv.org)でも読める(現在韓国語のみ)。また『知恵の泉』と子ども向けの漫画で読む『知恵の泉(上・下)』『いのちの泉』、イ・ジェロク牧師1分信仰コラム『としび』など、本にもなっている。

オアシスのような喜びをくれる天の糧 毎週の聖書の学び教材『六日間のマナ』下巻発刊



荒野のような世に生きていく現代人を乳と蜜の流れるカナンの地へと導くための神様の特別なレシピ『六日間のマナ』下巻が6月13日に発刊された。

主の愛が込められた「十字架のことば」と霊の信仰が成長するための「信仰の量り」などを扱った上巻に続き、下巻は心の地を耕して真心と全き信仰を持つための方法、自分の持ち物を全部売り払って終えるべき花嫁の備え、よりすばらしい天国を攻める方法、義のために迫害されても喜べる真実のクリスチャンの生き方などで構成されている。

この本には神の国の働き人ならば知っておくべき珠玉のようなみことばが込められていて、聖書の学び、ディボーション、伝道、説教など、信仰生活の実際的な本棚になるだろう。

「あなたの隣人の家を欲しがってはならない」



堂会長イ・ジェロク牧師

「あなたの隣人の家を欲しがってはならない。すなわち隣人の妻、あるいは、その男奴隷、女奴隷、牛、ろば、すべてあなたの隣人のものを、欲しがってはならない。」
(出エジプト20:17)

人の欲しがる心には終わりがありません。ある程度の所有があっても「充分」と言わず、より多くを得ようとするのです。ですが、多くを得たとしても、その心の飢え渴きは解消されるわけではありません。永遠のいのちを求めて天国の望みで心を満たす時でこそ、まことの満足と喜びが臨むからです。

1. 世のものを欲しがる心を捨ててこそ
多くの人派手な家や珍しい物を見れば「本当にすばらしいな、美しい」と感心します。ところが「本当にすばらしい」という思いを超えて「私も持ちたい」と思うようになると、それを通して欲しがる心が芽生えるようになります。それで<ヤコブ1:15>に「欲がはらむと罪を生み、罪が熟すると死を生みます。」とあるのです。

物質を欲しがる心だけでなく、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢が結局これと同じ根であり、世の欲を愛して求めようとする心です。このような心があるので、嘘、盗み、姦淫、強盗、詐欺、横領、殺人など、あらゆる罪を犯すのです。

欲しがる心のせいで兄弟や親子、あるいは夫婦が敵同士になることもあり、真理

を喜ばず、自分より多く持っている人をねたんでそねみます。<第一テモテ6:10>にも「金銭を愛することが、あらゆる悪の根だからです。ある人たちは、金を追い求めたために、信仰から迷い出て、非常な苦痛をもって自分を刺し通しました。」とあります。

神を信じるという人の中でも貪欲ゆえに罪を犯すことがよくあります。旧約聖書のアカンという人は戦利品の中から金銀と外套を盗んで隠しました。これによって彼はもちろん、すべての家族と家畜まで滅ぼされたのです。また、アナニヤとサピラは地所を売って神にささげることになりましたが、貪欲のゆえ一部を隠して残りをささげておきながら、全部だと欺きました。結局、彼らは神に呪われて死んでしまいました。

2. たましいに幸いを得ている人は欲しがらぬ心がない

人がいくら多くを味わって、さらに全世界を手に入れても、いのちを損じたら、何の得があるでしょうか。反対に、世で富と栄華を味わっていなかったとしても、主を信じてまことのいのちを得たなら、本当に豊かな人になれます。

ルカの福音書16章を読むと、ある金持ちとラザロという貧しい人のたとえがあります。金持ちは毎日ぜいたくに遊び暮らしていましたが、ラザロは金持ちの食卓から落ちる物で腹を満たしたいと思うような卑しい暮らしをしていました。金持ちは神を信じない反面、ラザロは神を恐れて生きました。結局ふたりとも死を迎えましたが、ラザロは御使いたちに連れて行かれてアブラハムのふところに抱かれました。しかし、金持ちはハデスに行って、苦しみにあうことになりました。

このように、本当に信仰があるなら、現実ではいくら祝福されずつらい身の上でも、救われた感謝と喜びを失うことなく、卑しい暮らしも意に介しません。もちろん、神を恐れて光の中を歩んでいるなら、万物の主であるイエス様が私たちのすべての貧しさを贖ってくださったので、私たちの信仰のとおり豊かな祝福をいただくことができます。愛なる神は信仰によって求める子どもたちに最も良いものをもって答えてくださるからです。

<第三ヨハネ1:2>に「愛する者よ。あなたが、たましいに幸いを得ているようにすべての点でも幸いを得、また健康であるように祈ります。」とあるように、心の罪と悪を

捨てて、たましいに幸いを得ているようになると、天国で永遠の栄光を受けるだけでなく、この地上でもすべての点に幸いを得、健康であるようになります。これが霊の世界の法則です。

たましいに幸いを得ていない人が多くの物質を手に入れる時は、かえって欲がはらんで罪を犯すこともあり、結局神を離れることもあります。暮らし向きが厳しかった時は、純粋な心で神を愛して頼り熱心だったのに、事業の場が祝福されると、忙しいという理由で祈りをやめるなど、神を遠ざけて世に心を奪われるのです。

反対に、たましいに幸いを得ている人は世のものを欲しがることなく、祝福されて物質や名誉を得ても、そのために世の欲に落ち込むことはありません。世の良いものを得られないからと恨んで不平を言うこともなく、むしろ神のために自分のすべての所有といのちまで自らあきらめることもできます。

使徒パウロも、誰よりも忠実に働いて、多くの迫害と飢え、寒さと苦しみにあいましたが、救われた喜びと神の愛が満ちていたので、どんな境遇にあっても満ち足りることを学び、感謝しました(ペリピ4:11-13)。

3. 欲しがる心を捨てて御霊によって祈らなければ

たましいに幸いを得ている祝福が大事だからといって、御霊の歩みに入る前は祈りに答えられないとか、つらそうに生きなければならぬという意味ではありません。熱心に義を追い求めて行いながら必要なものを求めば、神が信仰の量りに応じて答えてくださいます。しかし、欲をもって頼った時は、祈っても信じられる信仰が与えられず、答えられないのです。

<ヤコブ4:2-3>に「あなたがたのものにならないのは、あなたがたが願わないからです。願っても受けられないのは、自分の快楽のために使おうとして、悪い動機で願うからです。」とあるとおり、自分の快楽のために使おうと求める時は、神がお与えにできません。

したがって何かを願うとき、人の思いの中で祈るのでなく、みこころにかなうように、御霊によって祈らなければならないのです。<ユダ1:20>に「聖霊によって祈り、」とあり、<エペソ6:18>にも「すべての祈りと願いを用いて、どんなときにも御霊によって祈りなさい。」と頼んでおられるのです。聖霊、すなわち真理の御霊は神の心を

探り、神の深みにまで及ばれるので(第一コリント2:10)、御霊によって祈ることはみこころにかなうので、神に喜ばれるようになります。するとすみやかに答えられるので、たましいに幸いを得るだけでなく、心の願いもすみやかにかなえられるのです。

私たちが御霊によって祈るために最も大切なことは、心を尽くして祈ることです。一瞬一瞬、切なる真実な祈りを神にささげなければなりません。病気を直す力だけでなく、世に勝ち、敵である悪魔に立ち向かって勝つ信仰の力を求めなければならぬのです。また火のような祈りの力とみことばの中で生きられる力、御霊による思いがでる力を求めなければなりません。

このように神に霊的な力を求めて心を尽くして祈れば、だんだん御霊に満たされ、自分には思いもよらなかった祈りの内容が泉が湧くよう出てきます。こういう祈りをすれば、長時間主を呼び求めて祈っても疲れず、かえって新しい力が湧き上がるのです。無理に祈ればつらくて大変ですが、心から主を呼び求めて御霊に満たされると、むしろ祈りをやめるのがもったいないほどになります。求めるものは何でも答えが見えてくるし、心は御霊に満たされて喜びがあふれます。

次に、私たちが御霊によって祈るために大切なことは、みことばを武器として身に着けることです。神のことばが心の糧となっていてこそ、御霊が何かを働きかけても、明確で具体的に受けることができます。毎日火のような祈りが積まれるほど、心の貪欲とすべての罪と悪がすみやかに捨てられ、何でも答えられる信仰が与えられます。

世のものを欲しがる心を捨てて、どんな境遇にあっても満ち足りることを学び、天国の望みでいつも感謝と喜びがあふれますように。また、御霊によって火のように祈り、すみやかに聖められ、すべてのことにおいて神のお心にかなうことを願って答えられる皆さんになりますように。

愛する聖徒の皆さん、

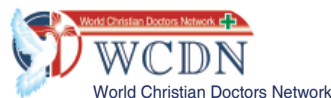
神が戒めを下されたのは、私たちをつらくさせようとなさるためではなく、霊肉ともに完全な祝福を与えようとなさるためです。このような愛を悟って、戒めを完全に守り、神が約束されたすべての祝福をいただきますように。



Tel: 82-2-818-7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: jujinkyung@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.gcnetv.org
e-mail: webmaster@gcnetv.org



Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク
編集者: ピン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
www.manminnews.com
編集発行: 万民中央教会
〒152-848 韓国ソウル市クワ区デジタル路26キル29
TEL: 82-2-818-7063 FAX: 82-2-818-7048

Q.

信仰生活をしながら祈っているのに 相変わらず夫や家族が迫害するなら、 どうすれば 問題が解決されるでしょうか？

A.

● 第一、自分に欠けたところはないのか顧みなければなりません。

信仰がない夫なら、妻が誰よりも自分を愛してほしいと思います。ところが、もし妻が「私はあなたより神様のほうがずっといいです」と言ったり、愛されたいと思っている夫に「そんな肉的な愛を私に要求しないでください」と言うなら、夫の心はどうでしょうか？

これは神様が望んでおられる信仰でもないし、聖霊の働きでもなく、単に相手の心と感情を思いやれない自己中心的な行動であるだけです。本当に神様を愛するなら、他の人も愛するようになります。本当に信仰があるなら、どんな人であれ、ないがしろにするのではなく、心から対して、愛と徳で抱くことができます。相手の心が理解できなくてつらくさせるのではなく、上からの神様の知恵をいただいて、相手の心を動かさなければなりません。また、自分が「全家を通じて忠実であったのか」顧みなければなりません。たとえば、職場で自分の業務は適当にしながら、担当の聖徒を顧みる

のだといて、いつも私的な電話をして席を外すなど不誠実な姿を見せる時は、神様に栄光を帰せません。同じように、子どもならば親にすべきことをしなければならぬし、学生ならば学生の本分を尽くすべきです。また、家庭の主婦ならば、妻として母として当然のことをするだけでなく、喜んで自分の使命を忠実に果たさなければなりません。

神様の働きをするからといって家事をおろそかにするなら、信仰のある夫でも妻に不満を持つようになり、神様を信じない夫ならば、もっと妻を迫害し、さらに教会と神様が嫌いになるでしょう。ひょっとしてでも夫を無視したり無愛想にしてはならないし、真理に逆らうことでなければ夫の心に合わせて、まるで主に対するように夫に仕える時に、神様も喜ばれます。このようにキリストの香りを放っているのに迫害する夫や家族はあまりいないでしょう。

● 第二、喜びと感謝の心で行ったのかチェックしてみなければなりません。

祈って断食しながら、自分では神様にすべてをゆだねると言っても、喜んで信仰にあって耐え忍ぶのではなく、無理に悲しみながら我慢するならば、これは本当の信仰ではないので、神様のお心を動かすことができません。もし嘆き悲しんで泣きながら祈るなら、それは信仰によってしたことはありません。

火のような心からの祈りをささげて神様のお心を動かした時は、必ず自分も御霊に感じて動かされ、満たされるようになります。〈ピリピ4:4-7〉に「いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。…何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。そう

すれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。」とあります。本当に信仰によって行うならば、答えられたと信じて祈るので、喜びと感謝があふれて幸せなのです。

使徒パウロやシラスが足かせを掛けられて深い牢にいても賛美をささげられたし、ダニエルが獅子の穴に投げ入れられても感謝の祈りをささげたように、信仰によって祈る時は、神様が御霊に感じて動かされ、満たされるようにしていただきます。それと同時に、上から信仰が与えられて「あなたがたの信仰のとおりになれ」というみことばが臨みます(マタイ9:29)。これがまさに答えと祝福の秘訣です。

● 第三、賢い方法論を使うことができなければなりません。

神様が働かれるように信仰によってゆだねますが、霊の信仰が与えられる土台は自ら行うことによって作らなければなりません。創世記32-33章を読むと、ヤコブが自分を殺しにやって来る兄エサウの心を和らげるためにどうしたのか、詳しく記してあります。

ヤコブはただ祈って断食だけして、なりゆきのままに引きずられて行ったものではありませんでした。一番先に、神様の心を動かす、切なる心からの祈りをささげました。今まで下さった祝福に感謝して、前に神様が自分に約束なさったみことばを繰り返し、当面の問題の中で働いてくださるよう求める信仰の告白まで、いちいち申し上げました。このように、ヤコブは祈っているうちにどう行うのかについて、上から知恵をいただきました。つまり、神様に働くことのおできになる信仰の土台を作ってささげたのです。

たとえ兄エサウは神様の御前にふさわしくない人だったとしても、ヤコブは兄を無視して軽蔑して、きれいごとを言ったり行いを見せたものではありませんでした。練られている間にへりくだった心になったし、徹底的に低くなった心で兄のところへ出て行ったので、その中で神様のみわざが現れることができたし、兄の心も感動したのです。

このように、人との関係で問題が生じた時は、神様の知恵をいただかなければなりません。そうする時、神様は悪い人の心もつかさどって、敵を

も和らげるのです。たとえば、妻が夫に強要されて離婚しなければならない場合、善をもって行いますが、代案もなく相手が願う合意書にただ署名してはいけません。法的に支援を受ける道を調べて自分なりの対策を講じ、善の方法で最小限の権限は守れる知恵をいただかなければなりません。

火のように祈っているうちに聖霊に働きかけられれば、どんな状況でも適切な知恵と方法論を教えてください。間違った方法を使う時も、悟りを下さって、そうしないように働いていただきます。必ず、祈っているうちに聖霊の声を聞いて、働きかけに従って神様のみわざを体験できる、信仰の土台を立てなければならぬのです。ただ「神様がなさるだろう」と漠然と期待しながら、うやむやに状況に巻き込まれていくのは、答えられる本当の信仰ではありません。

したがって、答えられるためには、まず具体的ではっきりした信仰の祈りがなければならぬし、ヤコブの渡してもものつがいはずれるように祈ったヤコブのように、心からの求めを神様にささげなければなりません。すると上から平安が臨んで、喜びと感謝に満たされます。また、聖霊が働かれるうちに、どんな信仰の行いを見せればよいという賢い方法論が思い浮かぶのです。

8月支教会スケジュール

8月26日(水)	飯田万民教会	権能いやし聖会(講師:柳 承吉牧師)	8月30日(日)	名古屋万民教会	癒しの集い(講師:時國みや子牧師)
8月26日(水)	松本万民教会	リバイバルいやし集会(講師:伊藤正明牧師)	8月30日(日)	東京万民教会	権能いやし聖会(講師:崔ピョンラン牧師)
8月30日(日)	沖縄万民教会	権能いやし聖会(講師:山下好美牧師)	8月30日(日)	東京田端万民教会	特別いやし集会(講師:チョン・キョンテ牧師)

「全世界の魂に聖潔福音の本が届くその日まで～」

イ・ホサン予備長老(46歳、1大大5教区)



妻アン・ジョンウン執事

私は1992年2月、軍隊の教会で冬のキャンプに参加して聖霊体験をし、主に熱く出会いました。10月に除隊後、復学を前にデパートでアルバイトをしながら、光と塩宣教会(主日も勤める人のための超教派の宣教会)で万民中央教会を知るようになり、その翌月から教会に出席しました。堂会長イ・ジェロク牧師先生の説教はわかりやすく明快で、とても恵みを受けました。さらに堂会長先生の祈りで10年以上私を苦しめていた両目の痛みが完全になる神の力あるわざを体験して、私の信仰はもっと熱くなりました。

1997年9月、文書宣教を担当している教会の編集局に勤めることになりました。私は聖殿で働けるので、とてもうれしくて感謝しました。ところが1999年、某放送の偽りの歪曲、不公正報道によって堂会長先生の著書の書店への普及が困難になると、私は流通、営業を志願しました。韓国全土を巡って、ただみことばどおり生きて、不思議とし、神の力あるわざで神様の生きておられることと聖書が真実であることを証しし、イエス・キリストを宣べ伝えて無数の魂を主のふところへと導いておられる堂会長先生を伝えると、人々は思い直すようになり、神様の恵みのうちに多くの取引書店が確保できました。

2007年、編集局から営業チームが分離され、私は「ウリムブックス」の所属になりました。ところが、なぜか孤立したような感じと業務に関する自分の限界を感じて、だんだん神様の働きをおろそかにしてしまったのです。そうするうちに世に心を奪われ始め、祈りの生活も満たされていっていませんでした。2009年3月に結婚してしばらく楽しいようでしたが、御霊に満たされた生活ができないから、心は悩んでいました。ある時は地獄へ行く夢を見て、びっくりしてがばっと起きたこともありました。私はレビ族(教会常勤職員)

として救いの確信さえないことを悟って、涙で悔い改めました。その後、みことばどおり生きようと努力しました。

ところが2012年6月、長年ソウル国際図書展に参加してきたウリムブックスのブースを企画し設置する過程で、意欲が先んじたら、神様のみこころから外れる出来事が起きてしまいました。この事で私は自分自身を発見し、必ず真実の悔い改めの実を結ぼうと決心しました。2012年秋、後半期特別ダニエル徹夜祈禱会に参加して祈りながら、変化が遅いことを涙で悔い改めて、神様が望んでおられるきよい御霊に属する心に変えられるように求めました。

まず信仰の岩に立つために、憤りを捨てようと代わりに柔和な心を満たし、不満を持ったりわかってもらえないとさびしくなるなどの悪い感情を捨てるために、相手を理解しようとする心を満た

し、さばいて罪に定める心を捨てるために、すべてを善をもって考える心を満たしていきました。また、感謝と悔い改めの日記帳を作って、すべてのことに感謝の条件を探して記録し、特に寝つく前に一日を顧みて、神様の前に悔い改める文を書きながら、父なる神様と交わりを持ってその愛を感じていきました。これだけではなく、教会学校中高生部の学びの教材『信仰の量り』の内容のとおり、教師である私が先に実践して教えようと最善を尽くしました。するとやりがいも感じて自信も与えられ、その年の12月、信仰の岩に立つ祝福をいただきました。

2014年には教師連合会連合会長という尊い使命を任されることになりました。いろいろ子どもたちに対する時は「私もみことばどおり生きられなかったとき、父なる神様と主はもちろん、堂会長先生が寛容を尽くして待ってくださり、みことばどおり生きられる道を開いてくださったんだ」と思って、さらに彼らを理解して愛することができたと、かえって子どもたちを通して学ぶことも多かったのです。

合わせてレビ族として神様の働きを最優先にしたので、神様はその年の4月、御霊に属する心に変えられるように導かれました。今年も教区の組長の使命まで与えられ、魂への愛の心をさらに学んで悟り仕えています。

私は堂会長先生の珠玉のような著書を全世界の魂が持つてほしいと願いつつ、きょうも走って行きます。終わりの時、万民に向けられた摂理を成し遂げて導かれる三位一体の神様に、すべての感謝と栄光をお帰しします。

「ハンカチの祈りで帯状疱疹がいやされました」

マイリン・マシカム聖徒(34歳、フィリピン・ダバオ万民教会)

2012年2月、建設現場で働いていた主人に仕事がなく、食事を抜くほどつらく苦しい毎日を送っていました。その時、友だちの伝道でダバオ万民教会に通うことになりました。

心身とも疲れ果てた私に天国の望みが与えられたし、主人の仕事もすぐに見つかる祝福までいただきました。私には悩みが一つありました。十代の時から吸っていたタバコがやめられなかったのです。やめなければならないとは知っていたのですが、思ったようにいきませんでした。

そんな2014年の初め、妊娠しましたが、出産三、四日前から顔と脚がむくみ始めました。検査の結果、妊娠中毒症でした。やっとのことで11月22日に出産しましたが、赤ちゃんは酸素が不足して、保育器に1か月ほどいなければなりません。そして出産四日後、私の体には異常が現れました。背中から胸まで水泡ができて、とてもかゆくて痛みがひどく、まともに眠れませんでした。帯状疱疹でした。

一か月間、病院で産後の養生をしていた私は、よくなる兆しが見られないと、2015年1月、教会に行くと、礼拝時間に映像で堂会長イ・ジェロク牧師先生のやさしい祈りを受け、さらに先生が祈って神の力が込められたハンカチ(使徒19:11-12)で担任のキム・ウンジャ牧師先生に祈りを受けました。三度祈りを受けてから痛みとかゆみがなくなったし、水泡が破れてかさぶたができて完全にいやされました。それだけでなく、帯状疱疹を通してやめようと努力してもやめられなかったタバコがやめられたし、赤ちゃんも元気に育っています。ハレレヤ!



主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

●イエス・キリスト飯田万民教会

〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>

●名古屋万民教会

〒465-0014 名古屋市長東区上菅 1-916
T) 052-774-8874

●イエス・キリスト山形万民教会

〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771

●イエス・キリスト別府万民教会

〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980

●イエス・キリスト大阪万民教会

〒591-8023 大阪府堺市中百舌鳥町 5-775-15
T) 072-220-5289
<http://www.osmanmin.com/>

●イエス・キリスト旭川万民教会

〒071-8144 北海道旭川市春光台4条 3丁目 11-23
T) 0166-53-0652

●イエス・キリスト東京田端万民教会

〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>

●イエス・キリスト松本万民教会

〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003

●イエス・キリスト舞鶴万民教会

〒624-0913 京都府舞鶴市上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>

●岡山万民教会

〒716-1321 岡山県高梁市有漢町有漢3206
T) 0866-57-9691

●イエス・キリスト東京万民教会

(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740

●イエス・キリスト沖縄万民教会

〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-10 サンライフ米須301号
T) 098-988-9472